

打線爆発 光星10点



【大間】八学光星、先頭打者の近藤俊太が右中間への本塁打を放ち、1点を先制。はるか夢

大間無念 6回コールド

準々決勝

八学光星 10点
 弘前工大 1点
 (6回コールド)

△大 佐木月 岡本 俱井(△)
 △山田、後藤、太山 △三塁打 近藤俊、矢野
 △本塁打 近藤俊、長南、(△)△三塁打 俱井、長

南(△) △試合時間 1時間3分
 △試合場 夢野
 (球審 澤田、塁審 岡、小松、福永)

【要】八学光星は初回、先頭打者近藤俊の本塁打で先制。二回以降も長打を中軸豊校と互角に戦うことができた。7点リードで迎えた六回は、1死二塁から俱井の本塁打で2点を追加。その後も打点や四球で満塁の好機をつくり、伊藤の適時打でコールド勝ちを決めた。大間は相手の投手陣を攻略できず、無安打に終わった。大間・岡本隆雅(5年生)で捕手。来年度に向けて、最後まで前向きに攻める姿勢を貫く打撃を強く、強豪校と互角に戦うことができるチームにしたい。

3試合連続のコールドゲームで大間を返けた八学光星。打っては8本塁打を含む15安打。守っては無安打。無失点と盤石の試合運びで4強入りを果たした。初回に先頭打者本塁打で先制点を挙げると、3安打で打点も活躍した近藤俊太は、初球から積極的に狙っていた結果、2点勝利を挙げた。

快進撃を続けてきた公立校の勢いを受け流し、好機で長短打を集め、着実に点差を広げた。この試合で途中出場し、本塁打を含む2安打で点差を広げた近藤俊太は、一塁の球のランナーをさっさとランアウトで

ハイライト

きたと勝利に貢献し、喜びの表情。守備では、山田卓と後藤大海の継投で、相手打線を無安打に抑えた。捕手の太山昭仁も含め、2年生バテリが安定した投球で試合をこなし、後藤は、チームに勢いを付けた。投手陣を見せられた。ようやうに

進法勝は、青森山田・青森の勝者と対戦となる。甲子園を目指す戦いも経験に入り、「守備や走塁で試合のリズムをつくり、自分たちの野球ができれば、負ける相手はいない。気を引き締めて戦い」を近藤俊。より一層闘志を燃やした。

(金澤千優希)

試合速報
 第100回 全国高校野球選手権記念 青森大会
 ◇第7日

光星と聖愛
 4強名乗り

第100回全国高校野球選手権記念青森大会第7日は18日、弘前市はるか夢球場で準々決勝2試合を実施した。八学光星が大間に10-0でコールド勝ち、弘学聖愛は延長戦の末、弘前東を下して、共に準決勝に駒を進めた。大会第8日の19日は、残りの準々決勝2試合を行う。(取材班)

【八学光星】	打点	安打	振球	失点
④ 近藤俊	4	3	2	0
⑥ 武長	4	1	1	0
⑧ 東	3	1	1	0
⑦ 近藤	3	1	1	0
③ R	3	0	0	0
⑤ R	3	0	0	0
② H	3	0	0	0
H	3	0	0	0
H	3	0	0	0
H	3	0	0	0
犠打	2	0	0	0
盗塁	4	0	0	0
併殺	0	10	3	0
残塁	0	15	9	0
失点	0	4	0	0
投手	回	打点	振球	失点
佐々木	5	1/3	38	15
山後	4	12	0	6
田藤	2	6	0	4
伊藤	1	0	6	1
藤	0	4	0	0